

心に広がる数学の世界を！ 多読・多聴で生きた英語を！

SEG® 2019 高3

9月入会・夏期講習案内

2019 SEG® 大学合格実績

(2019.4.12判明分)

東京大学		121名	国公立医学部 医学科	合計85名	私立医学部 医学科	合計229名	早稲田大学	239名
理科I類	50名	京都大学	1名	慶應義塾大学	15名	慶應義塾大学	223名	(うち医15名)
理科II類	31名	大阪大学	1名	東京慈恵会医科大学	24名	東京理科大学	203名	
理科III類	5名	東京医科歯科大学	7名	順天堂大学	19名	明治大学	84名	
理学部(推薦入試)	1名	東北大学	3名	日本医科大学	24名	上智大学	43名	
文科I類	14名	北海道大学	2名	昭和大学	25名	中央大学	34名	
文科II類	12名	筑波大学	6名	東京医科大学	15名	立教大学	16名	
文科III類	8名	千葉大学	9名	東邦大学	14名	青山学院大学	14名	
		京都府立医科大学	1名	国際医療福祉大学	17名	国際基督教大学	7名	
		金沢大学	2名	東京女子医科大学	13名	ほか	ほか	
国公立大学合計		361名	私立大学合計		1,268名			

アクセス▶JR新宿駅西口より徒歩7分



中学1年～大学受験
科学的教育グループ

SEG®

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-19-19

資料請求・お問い合わせ **TEL.03-3366-1466** 月～土 13:00～21:00
<http://www.seg.co.jp/>

姉妹校 横浜エデュカ TEL.045-441-1551

目次

夏期講習(大学別対策講座).....	01
東京大学.....	02
東京医科歯科大学.....	03
東京慈恵会医科大学.....	03
順天堂大学(医).....	03
東京工業大学.....	04
横浜市立大学(医).....	04
夏期講習(科目別).....	05
数学.....	05
理科(物理・化学).....	11
英語多読.....	17
特別講習.....	19
9-11月期のご案内.....	21
SEGの流れ・サポート.....	23
夏期講習手続のご案内.....	24
9月入会手続のご案内.....	25

大学別夏期到達度確認講座 を受講しよう

小手先の解法のコレクションに腐心することなく、基本に忠実で深い勉強をしていれば大学入試に対応できるようになります。それでも、志望校に応じた勉強をするに越したことではありません。どのような雰囲気の問題が出題されているのか? どのような解答が期待されているのか? を事前に知っていた方が、普段の勉強でも安心していられますし、本番でも面食らうことがあります。

SEGの大学別対策講座は、みなさんが現在行っている勉強方法が、希望する大学の入試問題と良好な関係にあるかを確認する講座です(入試傾向・出題スタイルについての紹介も行います)。「こんな問題が出題されている」「夏の間にここまで到達しておく必要がある」「今後はこのレベルまで到達する必要がある」ということを、講座を通じて自己確認できるようにします。

大学別対策講座の流れ

夏期講習「大学別対策講座」

どんな入試問題が出ているか?
夏の段階で達成すべき学力は何か、どこまでか? を提示します。

9-11月期

実戦的テスト演習に突入! 弱点を発見し、解答の作り方を練習。学力だけでなく得点する力も伸ばします。

冬期・直前講習

本番と同じレベルの問題で実戦練習! 自信を持って本番に挑むことができる力を、しっかりと身につけます。



大学別対策講座

東京大学

詳細は、各講座案内をご覧ください。

東大を受験するなら、準備は早めに! まだ、学力的に東大の問題に触ることはできないと思って臆することはあります。数学では、夏の段階で十分取り組める問題、見知りおいた方が良い問題を中心に扱いますので、気負わずチャレンジしましょう。理科については、夏でも本番レベルの問題を扱います。数学は講義型=問題解説型授業(理系・文系別)、実戦テスト型授業(授業は1日! 手軽に受講できます。理系・文系別)の2種類。英語・物理・化学・国語はいずれも講義型の授業が開講されます。

この問題はこうやって解く! という技法に走るのではなく(そんな勉強方法は見た目の違う問題が入試で出題されれば役に立ちません)、「頭を使ってじっくり腰を落ち着けて問題に取り組む」ということがどういうことかを、過去に出題された問題を利用して講義します。

P.07 東大図形数学(理系) G/H

●180分×5日間

P.09 東大図形数学(文系) L/M 東大解析数学(文系) L/M

●180分×5日間

P.08 東大理系数学腕試しI

●300分×1日間

P.09 東大文系数学腕試し

●210分×1日間

P.13 東大物理演習 力学・波動

●180分×4日間

P.15 東大理論化学演習

●180分×5日間

P.17 東大英語

●180分×5日間

P.19 東大理系国語

●180分×5日間

東京大学理類配点(2019年)

	数学	英語 (外国語)	理科 ※2科目合計	国語	合計
配点	120	120	120	80	440

東京大学文類配点(2019年)

	数学	英語 (外国語)	地理・歴史 ※2科目合計	国語	合計
配点	80	120	120	120	440

Check 冬期・直前講習には本番と同じレベルの東大対策講座が開講されます!

冬期講習

東大解析数学(理系)
東大理系数学腕試しII
東大文系数学テストゼミ
東大英語テストゼミ
東大英作文・要約演習
東大物理演習 力学・波動*
東大物理演習 電磁気・熱力学
東大理論化学演習*
東大物性化学演習
東大理系国語テストゼミ

直前講習

直前東大理系数学テストゼミ
東大理系数学腕試しIII
直前東大文系数学テストゼミ
直前東大英語テストゼミ
直前東大物理テストゼミ
直前東大化学テストゼミ
直前東大理系国語テストゼミ

開講講習は予告なく変更となる場合があります。
※印は夏期講習と同内容の講座です。

大学別対策講座

東京医科歯科大学

市販の問題集にある典型問題ではなく、考えさせる問題を出題する大学です。ただ、いたずらにひねった問題が出題されているのでもありません。典型問題の練習に少し思考力、特に問題を読み解く力（医科歯科の入試対策ではこれが一番大切になります）がつくような練習を少し加えるようにしておけば十分対策になります。

この講座では、問題を読み解くための基礎学力がついているか？を確認するのにどのような勉強が必要かを提示するように授業を進めます。夏の続きとして、冬にはテストゼミや過去問の検討を通して、合格点をとることを目指す講座が開講されます。

医科歯科大の数学（医学科） ●180分×2日間

東京医科歯科大学医学部配点（2019年）

	数学	英語 (外国語)	理科 ※2科目合計	合計
配点	120	120	120	360

医科歯科大の英語（医学科・歯学科） ●180分×2日間

大学別対策講座

東京工業大学

センター試験によるフィルターは無いと言ってよく、数学・理科が大きな配点を占め、加えて、英語は難易度が高く、長文化傾向が顕著な大学です。論理的思考能力を見ようとする問題が出題されますが、夏の段階では即物的な対策に走ることなく、基礎学力の向上に集中するのがよいでしょう。ただし、公式を覚えるためのような基礎問題を反復するのではなく、思考力の基礎を作るような問題に集中する必要があります。過去問を参考にしながら、思考力の基礎を作るような問題とは？ 夏の段階で達成しておきたいこととは？を提示するように授業を進めます。夏の続きとして、冬にはテストゼミや過去問の検討を通して、合格点をとることを目指す講座が開講されます。

東工大の数学 ●180分×2日間

東京工業大学配点（2019年）

	数学	英語	物理	化学	合計
配点	300	150	150	150	750

Check 東京工業大学については、冬期講習でも対策講座が開講されます。

大学別対策講座

東京慈恵会医科大学 / 順天堂大学（医）

医学部受験は合格点が高くて大変です。当然、基礎的な設問を落とすことはできず、さらに少し加えられている発展的な内容の問題にも手を出すことが要求されます。また、分量的な点からスピードが要求されることもあります。突出する必要はないけれどバランスのとれた学力が入試では要求されます。私大医学部の入試は大学ごとの個性があります（特に数学・英語）。夏期講習では、慈恵会医大と順天堂大（医）の数学・英語に絞り込み、それぞれの大学の入試問題の特徴を紹介し、勉強の姿勢を提示するように授業を進めます。この講座で、夏の段階ではどこまで理解しておく必要があるか確認してください。冬には、テストゼミや過去問の検討を通して、合格点をとることを目指す講座が開講されます。

慈恵会医大の数学 ●180分×2日間

東京慈恵会医科大学医学部配点（2019年）

	数学	英語	理科 ※2科目合計	合計
配点	100	100	200	400

慈恵会医大の英語 ●180分×2日間

順天堂大学医学部：一般A方式配点（2019年）

	数学	英語	理科 ※2科目合計	合計
配点	100	200	200	500

順天堂大（医）の数学 ●180分×2日間

順天堂大（医）の英語 ●180分×2日間

Check 東京医科歯科大学・東京慈恵会医科大学・順天堂大学（医）については、冬期講習でも対策講座が開講されます。

姉妹校 横浜エデュカで開講

大学別対策講座

横浜市立大学（医）

姉妹校の横浜エデュカで数学・英語・物理・化学が開講されます。お申し込み、お問い合わせは直接エデュカにお願いいたします。

►TEL 045-441-1551 ►http://www.educa.co.jp/

横浜市大医学部 数学テストゼミ

●225分×2日間

横浜市大医学部に合格するには充実した数学力が必要です。全体的に数Ⅲ分野からの出題が多く、初めて見るものに対する冷静な処理能力も要求されます。この講座では出題の特徴を紹介しながら、今後どのような勉強を行えばよいのか？という指針を示します。

横浜市大医学部 英語テストゼミ

●180分×2日間

傾向は、長文読解重視で、内容も論説文から小説・エッセイまで多岐にわたります。設問は、内容説明を中心に、和訳、英訳も出題されます。全設問が記述式で、英語の文章を正確に読む能力に加えて、的確に日本語で説明できる訓練も必要です。この講座では、出題傾向を反映したテキストを使い、傾向分析と、今後の対策の指針までを示します。

横浜市大医学部 物理テストゼミ

●180分×2日間

横浜市大医学部の過去問を分析して作られたテストとその解説講義を行います。横浜市大の物理では標準的な難度の問題が出題されるのですが、設問による誘導が少なく、答に至る過程を自力で構築し、それを答案で論述することが必要です。この講座で合格のためには何が必要なのか、これからどういう勉強をしていくべきかを見出することができます。

横浜市大医学部 化学テストゼミ

●180分×2日間

横浜市大医学部の過去問を分析して作られたテストとその解説講義を行います。化学の出題は「方針はすぐ立つが、計算量が多い」「有機は独特」などの特徴があります。全体的に癖が強いため、その癖を知っているか？は勝負を分けます。この講座では出題の特徴を紹介しつつ、どのような対策を行えばよいのか？の指針を示します。

横浜市立大学医学部配点（2019年）

	数学	英語	理科 ※2科目合計	合計
配点	400	400	400	1200

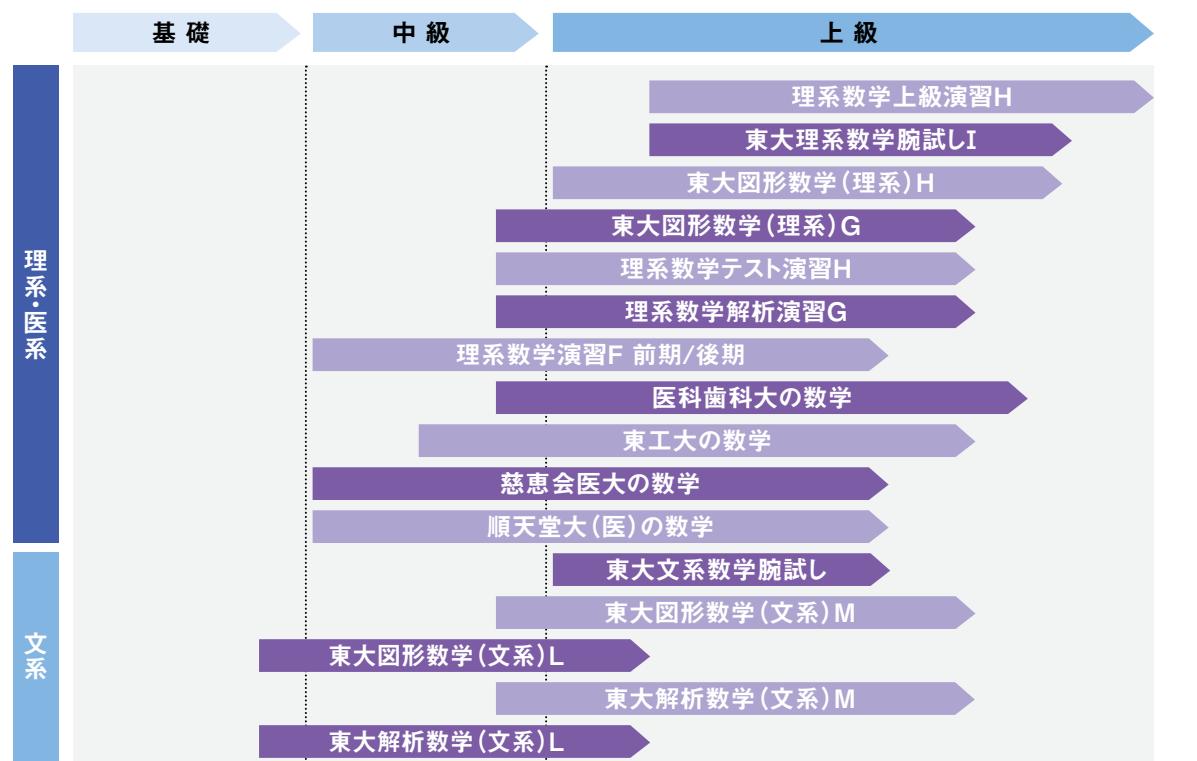


夏、大きく飛躍するために

入試スケジュールから逆算して、秋からは実戦的なテスト演習が必要です。夏はそのために、今まで学んできた知識を整理したり、あるいは問題の分析の仕方について入試問題を題材に鍛えたりする、テスト演習前の総仕上げの時期です。SEGの高3数学では、それらの目的に適するよう、さまざまなレベルの講座を用意しています。以下の表を参考に、適切なレベルの講座を選択してください。

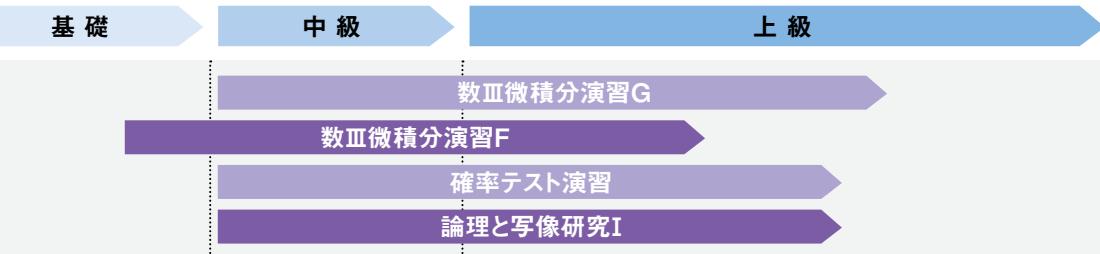
総合的な問題演習の講座

入試で出題される全分野の問題を総合的に扱う講座です。理系（入試で数Ⅲを含む）、文系（入試で数Ⅲを含まない）、レベルを考えて、受講講座を選択してください。



分野別対策講座

特定の分野について、強化するための講座です。



2019 合格者の声

苦手の数学はもちろん、どの教科も楽しく学べた



片山 鈴音 さん

東京大学
理科I類進学
(桜蔭卒)

数学に苦手意識があったので数学に強い塾に通いたいと思い、SEGは友達にも通っている人が多く、説明会に参加してここなら続けられると思って入塾しました。実際に通ってみて、毎回通うのがとても楽しみでした。おかげで、苦手だった数学は最終的に得意で好きな科目に変化しました。

印象に残っているのは、演習の授業です。どの教科もいろいろな入試問題を解くことができ、力を伸ばすにはもってこいの内容でした。予習→問題の解説→復習のサイクルを通して、多くのことが学べました。

SEGに通えば、どの教科も楽しく勉強しながら、手強い入試問題を解く力を確実に身につけることができます。みなさんも、SEGで最高に充実した時間を過ごしてください。

曖昧さを許さない授業が合格の柱に



加藤 遼太郎 さん

京都大学
医学部進学
(駒場東邦卒)

数学が伸び悩んでいたときに母の勧めで高1から通い始めたSEGですが、授業を受ける中で、それまで自分が持っていた数学に対するイメージが次から次へと崩れていくのを感じました。単に問題演習を繰り返すのではなく、一つひとつの問が持つ意味や、その背後に隠されたテーマや法則にまで踏み込んで解説していく授業は、非常に魅力的でした。

解答を書く際に「どうしてそうなるのか」ということに対する理解と説明を求められたことは、その後もずっと役に立ちました。この「曖昧さを許さない」スタンスが身についたことが、合格の柱になったと思います。

SEGでは、自分の考えがまったくおよばないような新たな世界に触れることができます。みなさんも、ぜひ一歩踏み込んでみてください。

理系・医系

高3の夏に仕上げたいことは?

これからは、入試までの残り時間を念頭において、どのように勉強を進めていくかを考えましょう。秋からは実戦的なテスト演習が始まります。その前にやっておくべきことは、たとえば今までに学んだことを自分なりに使えるよう消化したうえで、少し難易度の高い問題と格闘してみて実際の理解や習熟の度合いを検証するとか、受ける大学の問題に目を通して、達成目標をきちんと確認しておくといったことです。SEGでは数学の夏期講習として、総合力を鍛えるための講座と、大学別の対策講座を用意しました。上手く活用して、入試を突破するための力を確実につけましょう!

理系・医系の総合的な入試対策については、以下のいずれかの組み合わせでの受講がお勧めです。

A

東大・東工大・医科歯科大・慶應大(医)レベルの、思考力、計算力を要する問題が中心。すでに数学に自信をもついて、より力に磨きをかけたい方向け。

東大図形数学(理系)H + 理系数学テスト演習H
または
理系数学上級演習H

B

東大・東工大をはじめ、難関国立大～早慶理工などの理工系入試、また難関国公立～慈恵会医大・日本医大といった医系入試における標準～やや難レベルの問題が中心。基本公式は使いこなせるという方向け。

東大図形数学(理系)G + 理系数学解析演習G (+ 数III微積分演習G)

C

難関国公立・早慶理工・千葉大(医)・筑波大(医)などの理工系、医系入試における典型問題が中心。基本知識をどう活用すれば応用問題を解けるのかを学びたい方向け。

理系数学演習F 前期 + 理系数学演習F 後期 (+ 数III微積分演習F)

以上に加え、必要に応じて1～4ページの大学別対策講座、10ページの分野別対策講座を受講してください。

授業スタイル

問題解説型 …予習が必須で、その問題の解説を聞くことで、より理解を深めます。

テスト演習型 …前半はテスト、後半は解説で、実戦力を鍛えます。

東大図形数学(理系)G/H

問題解説型 受験数学G/H 前期指定講習
数I・A 数II・B 数III G上級 Hハイレベル 180分×5日間

東大をはじめとして、京大・東工大・早稲田大・慶應大等の難関大学では、問題に対する総合的な分析力・構成力が問われます。この講座では、平面図形・空間図形の求積・最大最小問題を中心に、さまざまな問題の演習を通じて、問題の分析の仕方、ゴールまでの道筋のつけ方など、総合的な数学力の育成を図ります。

理系数学テスト演習H

テスト演習型 受験数学H 後期指定講習
数I・A 数II・B 数III 180分×5日間

今までに習った基礎知識をもとに、入試レベルの問題に挑みます。入試の標準～やや難の問題を毎回4題テスト演習形式で、実際にその場で解いてもらいます。5日目の答案は採点・添削し、後日返却します。このテスト演習で自分の弱いところを早めに発見し、9月からのテストゼミの前に、必要に応じて弱点の補強をしてください。

理系数学上級演習H

問題解説型
数I・A 数II・B 数III

180分×5日間

高校数学の全分野にわたり、入試の難問・SEGオリジナル問題等を中心に、①解法発見のポイント(対称性・不变性など)②証明問題へのアプローチ(逆からの証明・一般化など)を軸として解説します。定型的でない問題にも挑み、数学に対する幅広く深い力を身につけたい方に向いています。

理系数学解析演習G

問題解説型
数I・A 数II・B 数III

受験数学G 後期指定講習
180分×5日間

高校数学の非図形分野について、入試レベルの問題を取り上げて解説を行います(方程式と不等式、整数、数列、確率、微積分)。難易度はやや難が中心です。今まで学んだ各分野の基本的思考法を、入試問題を解く際にどのように活用するか、という点を強調して講義します。非図形分野に対する思考力・分析力を底上げすることが目標です。数学がある程度得意な方を対象とし、各分野の基本公式は既知とします。

理系数学演習F 前期/後期

問題解説型
数I・A 数II・B 数III

受験数学F 前期・後期指定講習
各180分×5日間

高校数学の全分野について、入試の典型問題を取り上げて解説を行います。定石の確認を行うと同時に、時間をかけて分析する必要のある問題も扱います。難易度は標準～やや難です。前期は主に図形分野、後期は主に非図形分野を扱います(前期:図形と式・2次曲線、平面図形、空間図形、三角・指數・対数関数、複素数と図形/後期:整数・論証、方程式・不等式、数列、確率、微積分)。各分野の基本公式は既知とします。

東大理系数学腕試しI

テスト演習型
数I・A 数II・B 数III

300分×1日間

東大理系入試の数学と同じ、150分で6題を解いてもらうテストゼミです。ノーヒントで東大入試レベルのオリジナル問題を解いて、答案を提出してもらいます。授業の後半で、各問題の解説を行い、提出された答案は後日添削して返却します。

※「東大理系数学腕試しII」を冬期講習で、「東大理系数学腕試しIII」を直前講習で開講予定です。

※夏期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

2019 合格者の声

学びを愛する友人たちと高みに登ることができた



鈴木 拓海 さん

東京大学
理科I類進学
(駒駒卒)

SEGの良さは、理論重視の深掘りした授業に尽きます。どの科目も学校では教わらないような内容にまで深く入り込むことで、高校で扱う範囲の内容がいっそう明確に理解できるようになりました。

数学での本当に分かりやすい授業、化学では先生のマシンガントークによる楽しい授業が印象に残っています。物理のテストゼミで出題される問題も、受講生に深い考察を与えてくれる良問ばかりでした。

周囲の友人たちも大きな存在でした。SEGには受験勉強の枠にとらわれず、広い視野からの学びを愛する友人たちが多く、その友人たちと一緒に、さらに高みへと登っていくことができました。

文系

東大・一橋大レベル

「難問をどういう視点で攻略して解くか」が夏のテーマです。単に解法を覚えるのではなく思考法を最終確認し、9月からのテストゼミにつなげましょう。

東大図形数学(文系) L/M

問題解説型
数I・A 数II・B
受験数学L/M 前期指定講習
基礎～中級 M上級 180分×5日間

東大解析数学(文系) L/M

問題解説型
数I・A 数II・B
受験数学L/M 後期指定講習
基礎～中級 M上級 180分×5日間

東大・京大・一橋大など記述式の数学の試験を課す大学を目指す方は、各ジャンルの定理・公式といった知識だけでなく、「与えられた状況を正しく把握する」「把握した状況を式で表す」「必要な計算を正しく実行する」といった能力が要求されます。実際の入試問題を題材に、上記の能力の育成を図ります。

東大文系数学腕試し

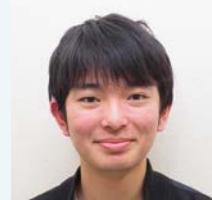
テスト演習型
数I・A 数II・B
210分×1日間

東大入試の文系数学と同じ、100分で4題を解いてもらうテストゼミです。ノーヒントで東大入試レベルのオリジナル問題を解き、答案を提出してもらいます。授業の後半で、各問題の解説を行い、提出された答案は後日添削して返却します。

※夏期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

2019 合格者の声

好奇心をそそる魅力的な授業



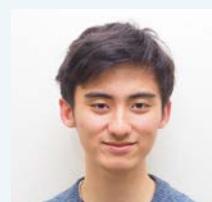
上野 天郎さん

東京大学
文科I類進学
(麻布卒)

中2の秋に親に勧められて、ここなら嫌いな英語の授業も受け続けることができると思い入塾し、高1からは数学も本格的に受講始めました。

数学の授業は完全に自分の性格に合っていて、チャレンジ問題に頭を悩ませていた時間はとても楽しい時間だったと思います。SEGの数学は、頭を使って問題を解くことが好きな人には極めて魅力的で、自分には好奇心をそそる内容ばかりでした。文系志望であっても考えることが好きな人は、SEGの数学の授業はぜひ受講すべきです。

想像を超える解法に、毎回驚かされた



船越 烈也さん

東京大学
文科II類進学
(私) 芝卒

数学が大の苦手だったため、友人の間で評判の高いSEGの授業を受けてみました。最初の微分の授業で、自分の数学の勉強がいかにいい加減で投げやりなものだったかを思い知られたから、入塾を決めました。

クリーム本は、頻出分野であるにも関わらず、一般の受験生が対策を疎かにしがちな問題を含め、受験勉強に必要な内容が体系的に整理されていて大いに役立ちました。また、先生が提示する複数の解法は常に僕の想像を超えており、毎回驚いていたことをよく覚えています。テストゼミでは、先生の丁寧で論理的欠陥を許さない添削が大きな助けになりました。そのおかげで、点数につながる解答の書き方をしっかり身につけることができました。

分野別対策講座

数Ⅲ微積分演習F/G

問題解説型
数Ⅲ
F中級 G上級 180分×5日間

理系入試において数Ⅲ微積分からの出題は大きな比重を占めています。できるだけ早いうちから数Ⅲ微積分についての入試の典型問題を押さえ、また応用が効くように十分に演習しておくことが必要です。この講座では、数Ⅲ微積分既習者を対象に、入試における数Ⅲ微積分の典型問題を取り上げて解説します。この講座で数Ⅲ微積分のレベルアップを図り、数Ⅲ微積分が得点源になるようにしましょう。

確率テスト演習

テスト演習型
180分×4日間

確率について、まだ十分に問題をこなせる自信はないという方、理解は十分なのだが、実戦ではなかなか答を合わせることができないという方を対象とした講座です。基礎を確認する問題から入試の難問レベルまでをテスト形式で演習し、テスト終了後に基本概念の確認から解法のポイントまでを講義します。短期間に集中的に学ぶことにより、確率に対する恐怖心を取り除き、より自信を持って問題に取り組めるようになるでしょう。

※添削は行いません。

論理と写像研究I

問題解説型
180分×4日間

論理や写像(関数の値域、点の変換・軌跡など)について学んだものの、理解が漠然としている、あるいはもっと得意になりたい、という方を対象とします。この講座では、論理や写像についての基本事項を確認したうえで、標準～やや難の入試問題を題材に「論理的な解答の作り方・考え方」を講義します。予習はテキスト・講師の指示に従って行ってください。この夏に論理と写像について「十分に分かった!」という状態を目指しませんか?

※冬期講習で続編の講座(実戦演習編)を開講予定です。

特別ゼミナー

バナッハ・タルスキート四元数

高2～高3 特別ゼミナー
180分×2日間

「1つの球をいくつかの部分に分けて、それらを回転・平行移動して組み替えると、元の球と合同な球が2つ作れる!」その内容のインパクトからパラドックスとまで呼ばれるこの定理は、無限の不思議さの片鱗を我々に垣間見せてくれます。この講座では、複素数を拡張したハミルトンの四元数を用いた3次元内の回転の取り扱いから、上記の定理までの扱いをします。想像を絶する無限の世界をどうぞ。

(木村浩二)

前提知識 複素数平面

※夏期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。



理科に手をつけよう!

希望する大学の募集要項には目を通しましたか？ 理科の配点が高いことに注目しましょう。数学・英語という主要科目に力を入れたくなるのは分かりますが、受験科目での点数配分からすると理科は副科目ではないのです。

勉強の方向性は夏に定めよう！

入試では「分野を融合」した総合学力を要求する問題を出題する大学も多いですが、夏の段階では「分野ごと」の勉強にメドをつけましょう。そのメドがついて初めて分野を融合した問題を読み解くことが容易になっていきます。SEGの夏期講習で開講される物理と化学の講座を分野別に紹介します。

	分 野	講義型講座	実戦演習型講座
物理	力学		東大物理演習 力学・波動
	波動（音波・光）		東大物理演習 力学・波動 磁場・光波演習
	電磁気	電気回路研究 磁場研究	電磁気演習 電場・電気回路演習 磁場・光波演習
	原子物理		原子物理講義演習
化学	理論（計算）化学		東大理論化学演習 理論化学の総点検 医歯薬系化学計算の総点検
	無機化学	無機化学講義Ⅰ・Ⅱ	無機と理論融合演習
	有機化学		有機化学総合演習

難度の高い大学だから難度の高い問題を出すのか？

難関大学の理科の入試問題は見た目が難しそうなことがよくあります。ところが、国立の東大や東工大、私立の慶應大や早稲田大ですら、設問自体はシンプルなものが主流となってきています。解答を作るのに学力が必要というよりも、設問の主旨を理解するのに学力が必要という入試問題が増えてきています。大学ごとの入試問題の対策として、各分野の学習をほぼ修了させたうえで、本番のスタイルに合わせて自分が培った学力を効果的に活用する方法を理解しておきましょう。

	夏 期	冬 期	授業の目的
東京大学	東大物理演習 力学・波動*	東大物理演習 熱力学・電磁気 東大物理演習 力学・波動*	過去問の検討・解説
	東大理論化学演習*	東大物性化学演習 東大理論化学演習*	
東京工業大学		東工大の物理／化学	
医歯薬系全般	医歯薬系化学計算の総点検	無機・有機の総点検	計算問題技法の確立および 必要知識の確認

*「東大物理演習 力学・波動」および「東大理論化学演習」は、冬期にも夏期と同内容の講座が開講されます。

9月以降の戦略を見越した夏を過ごそう

理科の勉強の開始時期は人それぞれです。早くから始めている方は、夏に入試対策を万全にし、9月からのより実戦的な演習に備えましょう。遅くなつて高3から始めた方であれば、夏になったからといって焦ることなく、夏までに学んだこと、およびこの夏に学ぶことを完全に修得するよう勉強すればよいでしょう。未了分野は9月以降で間に合うと考えましょう。そのためにも、夏でそれまでの勉強を完成させようとすることが大切です。そうすれば9月以降も安心して勉強できます。

以下の分野が未了の方 ➔ 物理速修コース・化学速修コース 講 義

物理 交流回路・熱力学・原子物理 物理速修コースで9月以降講義

化学 有機化学 化学速修コースで9月以降講義

全ての分野を学習済みの方 ➔ 物理演習コース・化学演習コース テスゼミ

本番に近い「問題冊子」と途中過程を示す論述型「解答用紙」でテストが実施されます。時間内に問題を読み取り時間内に答案を作成する練習（時間感覚や答案の書き方を身につける）、自分の弱点の発見とその補強、典型的でない問題に出くわしたときの心構え、などなど、多様な課題が処理されています。

授業スタイル

- 問題解説型** …予習が必須で、その問題の解説を聞くことで、より理解を深めます。
- 講義型** …講義を通じて、その分野の理解を深めます。
- 問題演習型** …授業時間内で問題を解き進め、解説も行います。

◆ 物 理

力学・波動分野 東大レベル

標準レベルの問題は自分の頭で考えることができるという方が、次のステップに進むための講座です。難問を出題する大学であれば東大以外の大学にも対応します。夏期では力学・波動を扱います。電磁気・熱力学は冬期に開講する講座で扱います。

東大物理演習 力学・波動

問題解説型 上級
力学 波動 180分×4日間

東大の入試では、物理のできる方にとってはシンプルで美しい、しかし単に公式をあてはめようとする方にとってはどこから手をつけてよいか分からないような問題が出題されます。この講座では、東大型の問題の「目のつけどころ」を紹介し、これから先どういう勉強が必要かを考えもらいます。あらかじめ「唸るように」予習をしてください。

電磁気(一部波動) 分野 G/H: 東大・早慶大レベル F: 一般大学レベル対応

Fなら基本問題、G/Hなら標準問題は自力で演習できるという方のための講座です。もちろん予習が必要です。解けなかった問題について理解を深め、最後に復習して不足していた知識を身につけることで、9月からのテストゼミ、そして入試に備えましょう。教科書の内容は理解できていることが受講の前提となります。さらにHでは一方通行的授業ではなく、担当講師との質疑応答を通して理解を深めてもらいます。

電場・電気回路演習H

問題解説型 受験物理演習H 前期指定講習
電磁気 H 上級 180分×5日間

電磁気学分野のうち、電気に関する現象を中心に扱います。入試問題の演習を通して、理論の体系的な理解、および、実戦力の養成を目標に授業を進めていきます。

電磁気演習F/G

問題解説型 受験物理演習F/G 前期指定講習
電磁気 F 中級 G 上級 180分×5日間

電磁気学は、力学と並んで受験において合否を左右する大切な分野です。電気回路(とりわけコンデンサーを含む回路)、電磁誘導を中心に、入試問題を取り上げて、数少ない基本原理に基づいてどう分析していくかを解き明かしていきます。法則・公式間の関係や組み合わせが整理され、目から鱗が落ちるように感じてもらいたいと思います。

磁場・光波演習H

問題解説型 受験物理演習H 後期指定講習
電磁気 波動 H 上級 180分×5日間

電磁気学分野のうち磁気に関する現象、および、光波の現象を中心に扱います。入試問題の演習を通して、理論の体系的な理解、および、実戦力の養成を目標に授業を進めていきます。

※夏期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

電磁気分野

すべての大学に対応

物理法則はイメージが大切ですが、数式を用いるなどして、厳密に理解しておくことも後々で力となります。ちゃんとした講義には「厳密さ」があります。

電気回路研究

講義+問題演習型 受験物理速修 前期指定講習
電磁気 180分×5日間

「電磁気学」において、直流回路に関する内容を中心に学習していきます。回路を構成する基本的な要素(素子)である、コンデンサー、線型抵抗、非線型抵抗などの特性とこれらを含む回路について、基本法則に基づいて解説します。これらの知識を自在に使いこなしていくための骨(コツ)は、「電位」の理解です。その意味では、あらかじめ自身の知識の定着度合の確認を兼ねた、電位の復習をしておくとよいでしょう。

前提知識 静電気学の内容、力学

磁場研究

講義+問題演習型 受験物理速修 後期指定講習
電磁気 180分×5日間

「電磁気学」において、磁気に関する部分を中心に学習していきます。今度の課題は、電場と似ているが少し違う「磁場」を理解すること。いろいろな事例を紹介しながら、少しづつ理解を深め、その知識を元に「電磁誘導」へと進みます。見た目には異なるさまざまな誘導現象が、ただひとつの法則で説明される。入試問題も解けてしまう。その明快さはすべて、「電場・磁場」の理解に由来しているのです。中枢となる基礎理論の重要性を体感してください。

前提知識 静電気学の内容、電気回路研究の内容、力学

原子物理分野

すべての大学に対応

原子分野は近年必修化された分野で、赤本などには過去問が少ないのでですが、次第に出題頻度が高くなっているため、根本からの理解および入試問題への対策が必要です。原子にかかる物理分野の考え方は力学・電磁気学・波動(特に光波)のすべてを組み合わせる分野ですので、物理全体を見渡す力がついているか?の確認にも利用できます。

原子物理講義演習F/G

講義+問題演習型 受験物理演習F/G 後期指定講習
原子 F 中級 G 上級 180分×5日間

原子核を構成する核子の結合エネルギー・原子核の崩壊や分裂/融合・光の粒子性・粒子の波動性・水素原子のボーア模型(前期量子論)・原子/原子核から放射される電磁波・電子線の干渉など多岐にわたる項目が、高校の範囲の物理法則に少しの発想の転換を加えるだけで理解でき、問題に取り組むことができます。荷電粒子の運動や波動の復習も含めた講義と典型問題の演習を行います。

前提知識 力学・電磁気学・波動(特に光波)

※夏期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

2019 合格者の声

物理の基本から応用まで学べ、実力テストもペースメーカーとして最適



木島 凪沙 さん

東京大学
理科I類進学
(湘南白百合学園)

物理を根本から教えてもらえたと聞いてSEGに入塾、公式の導出など基本的なところから応用まで幅広く学ぶことができました。また定期的に行われる実力テストは、授業の復習のためのペースメーカーとして打ってつけて、自分のどこが弱点なのかをしっかりと把握でき、今後の受験勉強の指針になりました。先生との距離も近く、どんな些細な質問でも丁寧に答えていただけたこともSEGの大きな特長です。

◆ 化学

理論(計算)化学分野 東大・難関国立大・早慶大レベル

東大・京大・早稲田大・慶應大も含め、標準問題とは呼びにくい問題を出題する大学用の講座です。「理論化の総点検」はいろいろな大学に対応します。受講には過去の自分が勉強してきた実績を用いてテキストの問題を予習する学力が必要です。夏期の東大対策講座では理論化学を扱います。有機化学・無機化学は冬期に開講する講座で扱います。

東大理論化学演習

問題解説型
理論
上級
180分×5日間

東大をはじめ、医科歯科大、京大や阪大の理論化学問題はよく考えられているものが多いです。普段見ることがないような設定条件を「化学的・理論的」に読み取って、基本法則に結びつけて解くという力が求められています。この講座では東大などで出題される、理論化学分野の目新しい設定の問題について、問題文の条件読み取り→基本原理との対応→解答方針の策定に至る道筋の作り方を紹介します。

理論化学の総点検

問題解説型
理論
中級～上級
180分×5日間

一通り高校化学の理論分野を学んだ方を対象に「本当に基本的なことを理解している?」「理解した基本理論や基礎知識は問題を解くときにどうやって利用するの?」を入試頻出問題の解説を通して提示する講座です。計算問題だけではなく、理論を文章論述的に問う問題の検討も行います。「分かる」から「できる」へ頭の中を変化させるような授業を行います。

理論(計算)化学分野 医・歯・薬学部レベル

国公立大学や人気のある私立大学でも標準的な問題しか出題しない大学があります。そういう大学では文章問題よりも計算問題が好まれる傾向にあるようです。標準的難度までの計算問題に対応する講座です。有機化学・無機化学は冬期に開講する講座で扱います。

医歯薬系化学計算の総点検

問題解説型
理論
基礎～中級
180分×5日間

医歯薬系の単科大学(国公立大・私大)では、数値計算・文字式の変形などの計算問題がよく出題されます。典型的なものが多く、合格には得点が必須なのですが、日頃の勉強での自分の学力の総点検が疎かであるせいで点を落とすことが多いようです。この講座では、典型的計算方法がマスターできているか?を基礎から確認します。

※夏期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

2019 合格者の声

衝撃的だった化学速修、暗記量が劇的に減少



長田 理那さん
東京大学
理科II類進学
(雙葉卒)

「勉強の楽しさを伝える」というメッセージがとても魅力的なSEGですが、最も衝撃を受けた授業は、夏期講習の化学速修での「無機化学講義」です。それまで暗記するものだと思っていた無機化学の各分野が、理論と結びつけられていく様子は本当に圧巻でした。おかげで暗記量が劇的に減少しました。
理系科目が苦手にも関わらず、理系に進んだ私が東大に受かったのは、間違いなくSEGのおかげです。

有機化学・無機化学分野

GH: 東大・早慶大レベル F: 一般大学レベル対応

知識はため込む=覚えるだけでは価値がありません。知識は利用してみて初めてその価値が分かります。覚えるだけでは、知識の価値も知らずに終わってしまう。そうならないようにするための講座です。

有機化学総合演習F/GH

問題解説型
有機
受験化学演習F/G/H 前期指定講習
F 中級 GH 上級 180分×6日間

高校化学の中では有機化学はまとまりがよく、入試でも得点源にしやすい項目です。ただし、基礎事項をしっかりと覚えて、そして、少しだけ高校範囲を超える考え方方に触れることが必要です。この講座では、何が覚えていていいか基礎事項なのか? 考えるべき発展事項とは何か? を入試問題を通じて提示します。有機化学全範囲の基礎学習が修了した方を対象とする講座です。

無機と理論融合演習F/GH

問題解説型
無機 理論
受験化学演習F/G/H 後期指定講習
F 中級 GH 上級 180分×5日間

無機化学はほとんどの大学で理論化学の題材として出題されます。通り一遍の知識も解答を作るうえで大切なですが、知識の理論背景 자체を問われることもありますので、知識だけという勉強ではいけません。この講座では、無機の知識と理論が絡み合った問題をどのように解いていくかを学習します。無機化学および理論化学全範囲の基礎学習が修了し、問題にチャレンジできる学力が必要です。

無機化学分野 すべての大学に対応

入試が近づいてから一気に覚える方が効率がよいと思っていますか? それは間違いです。知識は使ってこそ価値があり、覚えるだけでは価値がないのです。考え方を説明する記述式の解答を要求する大学、見たことがないようなテーマを高校範囲の知識で解説するような問題を出題する大学などなど、単なる知識問題を出題する大学は少数派になりつつあります。多量の知識を詰め込むのは後でよいですが、使う知識はできるだけ早めに覚えてどんどん使いましょう。知識の使い方も含めて基礎から発展までの講義を受けていると、本番でどんな問題が出ても強いものです。

無機化学講義I

講義型
無機
受験化学速修 前期指定講習
180分×6日間

無機化学講義II

講義型
無機
受験化学速修 後期指定講習
180分×5日間

入試問題の多くでは理論的な背景まで問われます。「無機化学講義I」では典型元素の物性を通して、知識と理論がどのように絡みあうか講義します。ルシャトリエの法則・反応速度理論と物質の性質の対応関係など多岐にわたります。「無機化学講義II」では、遷移元素・両性金属元素の物質の性質・金属イオン系統分析の知識の総まとめと、基礎知識を拡張して利用する考え方を講義します。酸塩基理論・酸化還元理論との関係・溶解平衡との関係が入試では特に重要です。

※夏期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。



夏休みに
英語を固めよう!

入試対策

受験英語多読G/H 前期/後期

受験英語多読G/H 前期・後期指定講習
G中級～上級 H上級 各200分×5日間

前期・後期ともに、多読多聴＋リスニング＋語彙演習＋速読演習を90分、予習を前提とした授業を90分行います（別途休憩20分）。テキストを使った授業では、英文和訳・長文読解・英作文をコアに、文法・語法・語彙もカバーする総合的な入試問題演習を行い、9月からの本格的な答案作成演習に備えます。基礎となる知識を確認して弱点を補強し、出題形式に応じた解法を学び、問題解答スキルを実戦レベルに高めています。また、要約については、宿題で提出してもらったものを添削指導します。Hクラスでは、ハイレベルの解説演習を行い、クラスの状況により講師から追加課題が出されることがあります。

受験英語多読E/F 前期/後期

受験英語多読E/F 前期・後期指定講習
E基礎 F中級 各200分×5日間

前期・後期ともに、多読多聴＋リスニング＋語彙演習＋速読演習の授業を90分、テキストを使った精読・英作文の授業を90分行います（別途休憩20分）。多読パートでは、授業内多読で速読力を養成します。精読・英作文パートでは、予習を前提に入試問題を素材とした読解・英作文の授業を行います。長文読解演習では英文和訳・内容説明等の記述式の問題に力を入れ、英作文演習ではさまざまな表現法を学び、9月からの本格的な答案作成演習に備えて弱点を補強し、得点力を高めています。また、希望者には、宿題で提出してもらった要約の添削指導をします。Eクラスの方がより基礎を重視します。

東大英語

180分×5日間

東大の入試問題傾向として、要約・和訳・段落整序・読解総合・英作文・リスニングがあげられます。5日間で出題パターン全てを経験し、自分の弱点と、その克服法を見つけ出す良い機会です。特に、要約では文章の骨格をつかみ、枝葉的情報を切り落とすコツの指導、和訳では過去の出題傾向をもとにした演習指導、英作文では受験生が間違えやすい点を指摘しながら、減点防止策の指導をします。

※夏期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

TOEFL® 対策

TOEFL® 受験英語多読T/T# 前期/後期 <資格制>

受験英語多読T/T# 前期・後期指定講習
T中級 T# 上級 各200分×5日間

前期・後期ともに、多読多聴＋リスニング＋語彙演習を90分、外国人講師によるSpeaking, Writingの授業を90分行います（別途休憩20分）。外国人講師の授業では、TOEFL iBTの試験内容に即した、Speaking, Writingの演習を中心に総合的なTOEFL対策演習を行います。多読多聴のパートでは、各自の英語力・読書力にあった原書を読んでもらうほか、基礎的な語彙の演習も行います。

※「TOEFL受験英語多読T/T#」は資格制です。下に記載のいずれかの証明書を添えてお申し込みください。

※2017年1月以降に受験した試験の結果を有効とします。

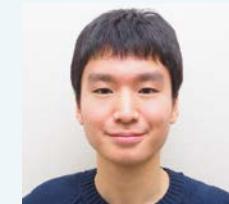
夏期	TOEFL iBT	TOEFL ITP	IELTS	英検	ACE	TEAP
T#	90以上	580以上	6.5以上	2500以上	880以上	330以上
T	70以上	520以上	5.5以上	2300以上	810以上	270以上

この他に、問題演習で鍛えるバイリンガル論述力β（19ページ）があります。

※夏期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。

2019 合格者の声

興味ある洋書を読むことで、英語へのやる気を喚起できた



生田 聖樹 さん

東京医科歯科大学
医学部進学
(私)早稻田卒

SEGには、自由な雰囲気で学べるのが魅力で中3の時に入塾しました。英語多読では、自分が興味のある洋書をじっくり読むことで、英語に対するやる気を喚起することができ、読解力向上に役立ちました。また外国人の先生も交えて、生徒同士で英語の言葉遊びや自由なディスカッションをすることがとても楽しく、こうした授業を積み重ねることで、知らず知らずのうちに会話力も鍛えられていったと思います。

英語多読の授業を通して人生でも役立つ力を得た



鎌田 将 さん

東京大学
文科Ⅲ類進学
(桐朋卒)

英語多読の外国人パートのおかげで、英語を話すことが好きになったことが、自分にとってSEGで学んだ最大の収穫だったといえます。また、読む本の範囲も広がりました。身近な話題について哲学的に考察しているような本は日本語ではあまり見当たりませんが、英語の本でそうした本に触れることができ、視野を広げる助けになりました。

どうせ受験勉強をしなければならないのであれば、受験だけに役立つ勉強ではなく、人生でも役立つ勉強をすべきだと思います。そういう意味で、SEGの多読の授業を通して得られた「英語を英語のまま理解する力」は、今後も決して無駄にならないと思います。

問題演習で鍛えるバイリンガル論述力β

高1～高3 英語 特別講習
180分×5日間

東大・京大・一橋大・東工大などの国公立2次試験や、慶應大・医科歯科大などの医学部で出題される論述問題に対応できる**本格的な実戦記述力**を身につける演習講座です。本格的な超長文を精読することではじめて解答できるような高度な論述問題や、与えられた日本語の文章を読んで得た知識を活用して取り組む英文読解記述問題を演習することで、実戦的な受験英語力を養成します。特に夏期講座では、**要旨要約問題**の中でも近年出題頻度が高まっている「日本語の文章を英語で要約する」、「英語の文章を読んで自分の意見を記述する」という形式の問題にも重点を置いて演習・解説を行います。最終日5日目は東大英語レベルの要旨要約問題・英作文問題に**テストゼミ形式**で取り組んでもらい解説をすることで、現在の自分の英語力を客観的に評価します。予習してきた答案は現役医師である講師自らが丁寧に添削、採点して返却します。補助教材を用いて丁寧に解説講義いたしますので、物理選択の方、文系の方の受講も歓迎します。
(吉田剛)

※昨年度夏期講習の同名講座と内容が一部重複します。

※今年度冬期講習・直前講習で統編を開講予定です。

東大理系国語

国語 特別講習
180分×5日間

東大理I・II・IIIを受験される方のための講座です。「国語の講座を初めて受講する方」のことも考えて授業を進めるのでご安心ください。問題の解法と必要な知識、それに今後の学習計画のお話もします。テキストは東大2次試験の過去問のみを扱い、適宜小テスト（漢字・古典文法・漢文句法）を行い、基礎力の確認もします。センター試験対策はありません。なお、今年度春期講習の同名講座と問題の重複はありません。
(桑島健太郎)

センター国語

国語 特別講習
180分×5日間

センター国語で160点以上=80%以上得点しなければならない国公立医学部を受験される方、および国語が苦手で自分一人では対策が難しいと思っている方のための講座です。1日目と2日目は現代文（評論と小説）を「論理」「抽象」「実証」的思考力を養う「国語」の基礎としてまず伝授します。3日目・4日目は古典（古文と漢文）を文法とボキャブラリーを入門・初歩から面倒を見ます。5日目は総合演習を行います。すべてセンター試験の過去問を素材として扱います。入試直前までの学習の「道具」「時間」「方法」などの具体的ノウハウについてもお話しします。夏からスタートされる方も大歓迎です。なお、今年度春期講習の同名講座と問題の重複はありません。
(桑島健太郎)

速読による能力訓練～日本語の速読訓練です～

中3～高3 特別講習
180分×5日間

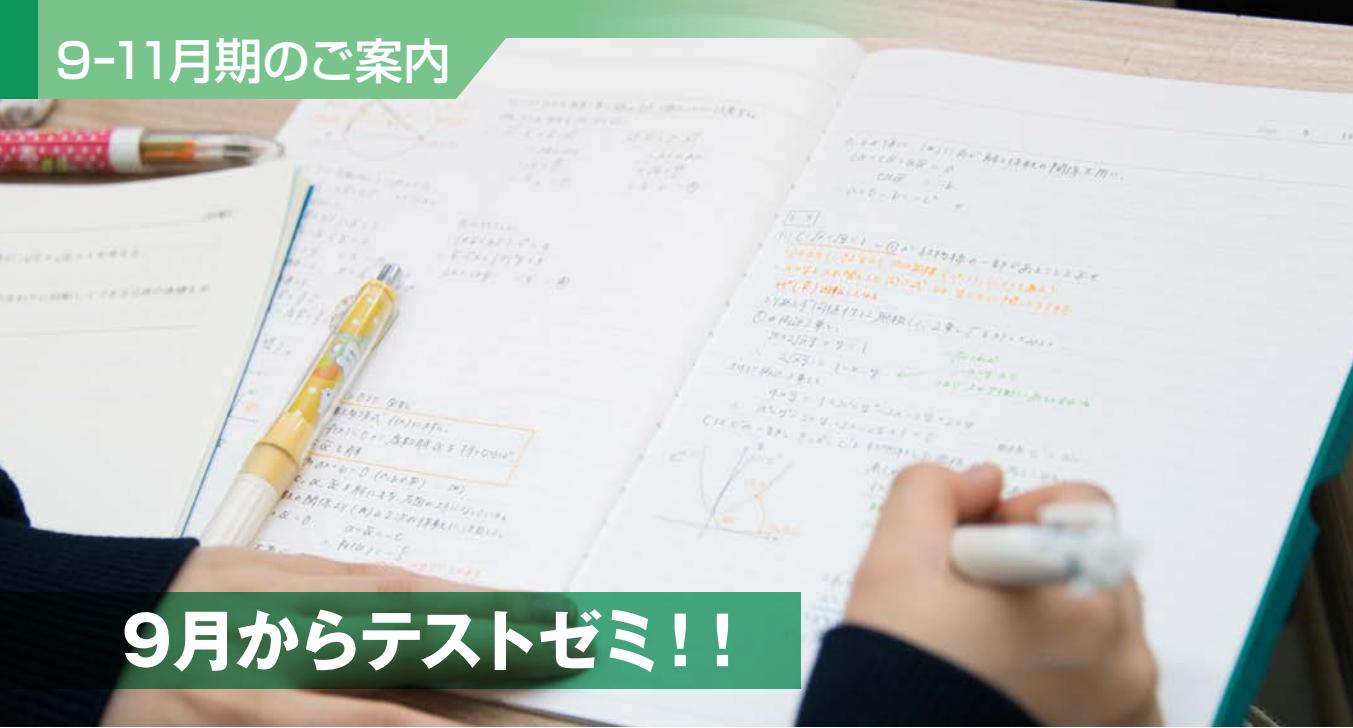
「何をするのかと思ったらとんでもないことをやった」というアンケートを読み、面白半分で受講を決めた。結果は『マジでとんでもないことをしてくれた。絶対一度受けた方がいい』と思った
(講習受講アンケートより/高2男子)

読書が苦手になりかけている方には読む楽しさを、本好きな方にはハイパーな速読の世界を体験していただきます。速読とはいっても奇術的なものではなく、むしろこれまで見過ごされてきた**本の読み方の深化・徹底化**を目指す内容です。'95年夏からスタートし、現在25年目、8,300名を超えるSEG生が受講しています。
(クリエイト速読スクール 松田真澄)

※この講座をベースにしたプログラムは**生涯学習のユーキャン**の通信講座にも採用されています。

※夏期講習の各講座の開講日程・担当講師・受講料については、別紙の「講座日程表」をご覧ください。





9月からテストゼミ!!

高3の授業では、9月から多くのクラスでテストゼミが実施されます。

9-11月期に①～③を12回繰り返し行うことにより、今までの知識を有機的にまとめ、自分自身の理解を確かめ、答案の記述力を高めることを目指します。

① 授業内テスト

まず、問題にチャレンジしてもらいます。問題は、各クラスの志望大学レベルに合わせて、さまざまな分野や問題形式からバランスよく出題します。

② 解説

テストの後に解説を行います。その時点で自分に足りないものは何かを自己発見してもらいます。

③ 添削・返却

テストゼミは単に問題を解くことだけが目的ではありません。自分の弱点を炙り出して今後の対策を考えることが大切です。答案は採点・添削して返却しますので、もう一度できなかった問題を見直しましょう。

数 学

◆受験理系数学コース (F G H) テストゼミ

◆受験文系数学コース (L M) テストゼミ

分かっていたつもりでも、実際にテスト形式で答案を書いてみると全然できていなかった、ということはよくあります。答の数値があっていても、論理的におかしな記述だと「評価されない」「点数は0」の場合もあります。そのようなことを身をもって経験する時期です。12回のテストゼミを通じて、入試を突破するために必要な実戦力を身につけましょう。

理系 (医系を含む)

H 東大理系・東工大・医科歯科大(医)・慶應大(医) レベルに対応 (数学がかなり得意な方向け)

G 東大理系・難関国公立レベルに対応 (数学がやや得意~得意な方向け)

F 難関国公立・早慶大理工レベルに対応 (数学の出来が標準あるいはやや苦手な方向け)

文系

L M 東大文系、一橋大などに対応

物理・化学

◆受験物理演習コース (F G H) テストゼミ

高校物理全範囲の講義を終えている方を対象に、入試問題を用いた実戦演習を行います。毎回過去の入試問題から、各レベルに応じた問題を3問から4問提供します。

◆受験化学演習コース (F G H) テストゼミ

高校化学全範囲の講義を終えている方を対象に、入試問題を用いた実戦演習を行います。毎回過去の入試問題から、各レベルに応じた問題を4問から5問提供します。

H 長文問題、設定が難解、高校範囲を少々超える問題を出題する大学に対応。高難度の問題でも満点に近い高得点をとることを目標とする。

G 標準的問題と、難解な問題が混在して出題される大学に対応。高難度の問題でも2/3程度はとることを目標とする。

F 必須知識を完成させ、標準的問題を落とさないことを目標とするテストゼミ。大学の出題傾向がこのタイプならG/Hよりおすすめ。

◆受験物理速修コース 講義・演習

回路の相互作用と熱力学各項目の基礎～発展講義・演習を行います。また、原子と原子核については、前期量子論と核反応を通じて、物理のすべての分野に渡って総合的に総括します。

◆受験化学速修コース 講義・演習

有機化学全項目について基礎から発展まで講義・演習します。

英語多読

◆受験英語多読EFGHコース 多読+テスト演習

G H 東大・一橋大・国公立医等に対応、英語で高得点を目指す方向け

多読 (+リスニング・語彙演習) + テスト演習 + 解説です。要約・英作文は、課外に宿題も課します。Hクラスは、多読60分+テスト演習60分+解説60分、Gクラスは、多読90分+テスト演習45分+解説45分です。

E F 国公立私立理系／医系／文系で、着実に得点を狙う方向け

多読 (+リスニング・語彙演習) 90分+テスト演習45分+解説45分です。なお、要約・自由英作文の配点の高い大学受験者には、GHクラスと同じ要約・英作文の課題を課し、添削後返却します。

◆TOEFL® 対策・受験英語多読Tコース 多読+TOEFL対策

T# TOEFL iBT® 100点以上を目指す方向け

iBT 93以上、英検 2600以上の資格がある方を対象に、半分は多読とリスニング・語彙演習、残り半分は、外国人講師がTOEFL iBTのWriting, Speaking 対策を行います。

T TOEFL iBT® 80点以上を目指す方向け

iBT 73以上、英検 2400以上の資格がある方を対象に、半分は多読とリスニング・語彙演習、残り半分は、外国人講師がTOEFL iBTのWriting, Speaking 対策を行います。

※受講資格は下をご覧ください。お申し込み時にいざれかの証明書を添えてお申し込みください。

※2017年1月以降に受験した試験の結果を有効とします。

9月以降	TOEFL iBT	TOEFL ITP	IELTS	英検	ACE	TEAP
T#	93以上	600以上	6.5以上	2600以上	対象外	350以上
T	73以上	530以上	5.5以上	2400以上	860以上	280以上

高3	春期講習	通常授業 4-6月期	夏期講習	通常授業 9-11月期	冬期講習	直前講習
	5日連続	週1回×12週	5日連続×2	週1回×12週	4日連続	4日連続

※上記は標準的なコースの授業日数です。一部のコース・講習は異なります。

季節講習

季節講習は、春期・夏期・冬期の年3回実施し、指定講習・特別講習・ゼミナールがあります。

指定講習

SEGの年間カリキュラムに組み込まれている講座です。夏期は前期と後期があります。

特別講習 ゼミナール

カリキュラム外の興味深い分野や、既習事項の復習講座などを幅広く用意しています。

通常授業

4-6月期・9-11月期・1-2月期の3期に分け(高3は9-11月期まで)、週1回通う授業です。

選抜制

数学・英語多読(受験英語多読Tコースを除く)・物理・化学は期ごとにクラス分け試験(入会試験)を行います。

資格制

受験英語多読Tコースは季節講習・通常授業ともに資格制です。受講資格は18・22ページをご覧ください。

受講科目・コース・レベルの選択

夏期講習は無試験で受講できます。パンフレットをご参照のうえ、受講科目・コース・レベルをご選択ください。開講日程・担当講師・受講料は、別紙の講座日程表でご確認ください。

受講に関してのご相談は、随時会員相談室で承ります。

個別相談専用電話番号▶03-3366-5530(月~土/13:00~21:00)

SEGホームページ(<http://www.seg.co.jp/>)→ページ下部の[お問い合わせ]

申込

●受付開始: 5/27(月) 13:00から

*正会員(現在通常授業を受講中)の方は、お届けしたご案内をご覧ください。

●申込に必要なもの:

- メイト会員登録票(初めての方のみ・写真含む)
 - メイト会員登録料500円(初めての方のみ)
 - 講習申込書
 - 受講料(現金または振込の証明となるもの)
- ※クレジットカードはご利用いただけません。

メイト会員登録票・講習申込書はWebからもダウンロードできます。
SEGホームページ(<http://www.seg.co.jp/>)→[入会案内]

●申込方法: 窓口または郵送にてお申し込みください。

【窓口でお申し込みの方】

受付場所: H教室1階受付 受付時間: 月~土 / 13:00~19:00

※日曜日の受付時間については事前にお問い合わせください。

※講習中は以下の日程のみ受付時間が異なります。

7/22(月)・7/29(月)・8/5(月)・8/12(月休)・8/19(月)・8/26(月)
8:30~19:00

【郵送でお申し込みの方】

郵送先

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-19-19
「SEG受講手続係」宛

SEGのサポート

●集中できる自習環境

授業前の自習には、ぜひ自習室をご利用ください。仲間と切磋琢磨して「一緒に合格する」というのがSEGの伝統です。開室予定は、SEGホームページ(<http://www.seg.co.jp/>)でご確認ください。



自習室 (T教室2階)



図書室 (T教室2階)



図書室 (T教室2階)

●参考書・洋書の閲覧

自習室の隣の図書室では、各種参考書、過去問題集などを見ることができます。また、英語関係では、比較的やさしい絵本や児童書などから、難易度の高いノンフィクションや長編小説まで、さまざまな洋書を数多く揃えています。

●講師に相談

授業前後、講師は講師室に在室しています。授業の前後や休み時間を利用して、講師に直接質問することができます。授業で分からなかったところなどは放置せずに、積極的に質問しましょう。

*講師室に直接お越しの場合は、事前にご連絡ください。

●チューターに質問・相談

大学生・大学院生のチューターがみんなの質問を待っています。授業中に聞かれていた質問をしたい時、なかなか解けない問題のヒントが欲しい時など、お気軽にご利用ください。チューターは主にSEG出身の現役の大学生・大学院生です。

*開室予定は、H教室1階の掲示。

SEGホームページ(<http://www.seg.co.jp/>)→[会員の方]で確認できます。右記からもアクセスできます。



チューター室 (T教室1階)

●以下の情報はWebでご覧いただけます(お電話でもご案内いたします)。

*空席状況

- SEGホームページ(<http://www.seg.co.jp/>) → [会員の方] → [講習空席状況]
 - SEG MyPage (<https://www.seg.co.jp/mypage/>) → [講習空席状況]
- ※キャンセル待ちは承っておりませんので、ご了承ください。

SEG
MyPage



*講座の増設状況

- SEGホームページ → [お知らせ]

講座の変更・取消

講座の変更 別の講座へ変更希望の場合は、元の申込講座もしくは変更希望先講座、**いずれか早い日程の授業初日の1営業日前まで**にお申し出ください。変更希望先が満席の場合は変更できません。

講座の取消 各講座の**授業初日の1営業日前まで**に、窓口またはお電話にてお申し出ください。お支払済の受講料から取消手数料または振込手数料を引いた金額をご返金いたします。

*詳細は、お申し込み時にお渡ししているご案内をご覧ください。

おことわり

夏期講習の受講にあたっては、次の点をあらかじめご了承ください。

- SEGでは「問題の解答の解説」よりも「解くプロセス」「解法の背景と理論」を重視しています。
- 生徒の理解に応じて、解説する問題数を調節しますので、テキストの全問題を解説しないことがあります。
- 受講態度に問題が見られる場合や他の生徒の学習を妨げる言動がある場合、その他講習の妨げとなる場合には、退席を命じたり受講をお断りする場合があります。

入会試験を受験

9月から通常授業に入会をご希望の方は、夏期講習の「指定講習」を受講してください。通常授業は受験英語多読Tコースを除き*すべて選抜制ですので、別途入会試験をお申し込みください。
*受験英語多読Tコース（資格制）は、入会試験はありません。6/6（木）より先着順にお申し込みを承ります。受講資格は22ページをご覧ください。

入会試験申込方法

《試験日時・試験範囲・結果発表日》

5月下旬に公開される「試験要項」をご覧ください。以下でもご覧いただけます。
SEGホームページ (<http://www.seg.co.jp/>) → [入会案内] → [入会試験]

《申込》

受付窓口で、各試験日の2日前までにお申し込みください。

●必要なもの

用 紙：試験申込書・メイト会員登録票・希望曜日届 ※受付窓口でお渡しいたします。
受験料：SEGが初めての方……メイト会員登録料500円+受験料（1科目1回1,000円）
メイト会員の方…………受験料（1科目1回1,000円）
過去に通常授業を受講していた方……無料

試験結果の確認

SEG MyPage (<https://www.seg.co.jp/mypage/>) → [試験結果の確認] にてご確認いただけます。
その他詳細は、試験要項にてご確認ください。

入会手続

以下のものをご用意のうえ、窓口または郵送にてお手続きください。

- ・受講申込書
- ・入会申込書
- ・口座振替依頼書
- ・入会金 9月入会の高3生は5,000円（通常は25,000円）
- ・受講料

※申込書他について

- ・受講申込書
 - ・入会申込書
 - ・口座振替依頼書
- 入会試験のお申し込み時に窓口でお渡します。
*振替口座のご登録は、キャッシュカードでも可能です。

※入会金および受講料について

- ・初回のみ、現金または振込にて、ご精算をお願いいたします。次回以降の受講料は、口座振替とさせていただきます。
クレジットカードはご利用いただけません。
- ・年間の受講料は、別冊子「入会手続のご案内」をご参照ください。
- ・受講料にはテキスト代が含まれます。

通常授業を受講

教室は、授業初日にH教室前で配布する「教室割表」でご確認ください。

以下のWebでも、授業前日の21:00までに公開いたします。

- ・SEG MyPage (<https://www.seg.co.jp/mypage/>)
→ [カレンダー・欠席／振替予約] もしくは [教室割]
- ・SEGホームページ (<http://www.seg.co.jp/>) → [会員の方] → [教室割]

SEG
MyPage



通常授業9-11月期 開講曜日一覧

9/2(月)～11/23(土祝) 全12週

	月	火	水	木	金	土曜	土夜
数学	—	F/G/H	L/M	—	F/G/H	F/G/H/L/M	—
		17:00～20:30			17:00～20:30	13:30～17:00	
英語多読	—	E/F/G/H/T/T#	E/F	F/G	G/H	E/F	G/H
			17:05～20:25			13:50～17:10	17:30～20:50
物理	—	速修	F/G	—	速修	—	F/G/H
		17:00～20:30			17:00～20:30		17:40～21:10
化学	F/G	—	—	F/G/H	—	—	—
	17:00～20:30			17:00～20:30			
	—	速修	—	速修	—	—	—
		17:00～21:00		17:00～21:00			

※開講曜日・時間は予告なく変更となる場合があります。詳細は、5月下旬に以下に掲載される「通常授業曜日・時間・講師表」でご確認ください。

SEGホームページ (<http://www.seg.co.jp/>) → [会員の方] → [通常授業曜日・時間・講師表]

通常授業9-11月期 受講料

科目	講座名	Ⅲ期 9/2～10/12	Ⅳ期 10/14～11/23
数学	受験数学	36,500円	37,200円
英語多読	受験英語多読	41,200円	42,000円
	受験物理演習	36,500円	37,200円
物理	受験物理速修		
	受験化学演習	36,500円	37,200円
化学	受験化学速修	40,900円	41,700円

※メイト会員登録料・受験料・入会金・受講料には消費税が含まれています。